

# にじいろ おやま

第2号 2020年6月15日 発行

## 【新会長就任のあいさつ】

会報『にじいろおやま』定期刊行にあたり、一言申し上げます。

令和元年度総会において、会長を拝命いたしました、田中富美夫と申します。片柳元前会長同様、皆様方のご協力、ご支援を賜りますよう宜しくお願いいたします。

協議会設立から6年が経過しました。小山市女性団体連絡協議会の方々との合流も成るなか、推進員、サポーター、各団体と会員の輪が広がりました。

男女共同参画社会の実現を図るためには、市民の皆様には活動内容を知ってもらうことが必要です。会報『にじいろおやま』を作成する広報部会、男女共同参画の意義を広める啓発部会、そして各公民館等での地域交流活動を行う地域交流部会の3部会を立ち上げました。部会等の活動を通じ、市民の皆様により分かりやすく、身近に感じていただけるよう尽力していく所存です。これからもご協力のほど、よろしくお願いいたします。



## 今年度の研修報告

### 【2019年8月30日（金）男女共同参画フォーラムに参加して】

埼玉県嵐山町の国立女性教育会館で行われた男女共同参画フォーラムでワークショップに参加しました。テーマは「伝承方法と防災のためのフォトボイスの活用」です。NPO法人フォトボイス・プロジェクトが主催し、東日本大震災で被災した女性たちの支援をしています。ワークショップでは、フォトボイス（写真と声）を紹介し、撮影者が被災地からの視点での自分のフォトボイスを通して、被災体験の伝承や防災の重要性について、語り合いました。写真を介して本音を語る事ができ、参加者の相互理解の場として深い学びになりました。いまだ癒えることのないキズを知り、決して風化させてはいけないと強く感じました。





## 【2019年11月12日（火）DV防止啓発研修に参加して】

子どもたちを取り巻く環境はとても厳しい状況です。毎日、ラジオやテレビの報道を聞くたびに、子どもの悲しい知らせが入ってきます。親の子への虐待、学校内でのいじめ、インターネットを介しての連れ去りやいたずらや殺人など、計り知れないほど子どもたちは危険にさらされています。

今回は、DVに関する親や子どもの状況を調べ、20年以上もその問題と向き合い、支援活動を続けている仲村久代さんの話を伺いました。想像するだけでも困難な活動だと思えます。子どもが安心して暮らせる社会をどう作っていくのか皆で考えて、出来ることから始めていきましょう。



## 【2019年12月18日（水）推進協議会学習会に参加して】

人が集まる男女共同参画講座の企画と広報チラシの作り方について、坂田静香先生にお越しいただき学習しました。先生ご自身の失敗事例と成功事例を惜しみなく使った講義は、とても分かりやすく、説得力がありました。失敗と成功の経験をとことん分析し「行列のできる法則」を見つけ出したというお話に、これまでの自分を深く反省しました。とかく「いろんな人に来てほしい」と考えがちでしたが、まずは「対象者とターゲットを絞り込む」ことが大事とのこと。

全国を飛び回る坂田先生の講演での学びがより多くの人々の生涯学習への参加を増やし、男女共同参画社会の実現が近づくことと期待が膨らみました。



## 【2020年2月18日（水）「小山市の防災対策とHUG訓練」研修に参加して】

この研修に、20名が参加しました。「安心できる避難所づくり～男女共同参画の視点を避難所運営に～」のDVDを視聴した後、消防署の職員による講話がありました。その中で、避難所運営委員会の各部に女性を入れることが大切であることがよく分かりました。

次は4つのグループに分かれてHUG訓練を行いました。これは、避難所に集まる年齢・性別・国籍ほか様々な事情が書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図へ迅速・適切に配置し、避難所内での色々な課題にどう対応するかを疑似体験するゲームです。このゲームで、避難所を運営する困難さを体験することができました。様々な災害がいつ起きてもおかしくない現在、この訓練で実際の対応の仕方を考える良い機会になったと思います。お世話になりました。



## 部会に参加された方の感想

### 【啓発部会】

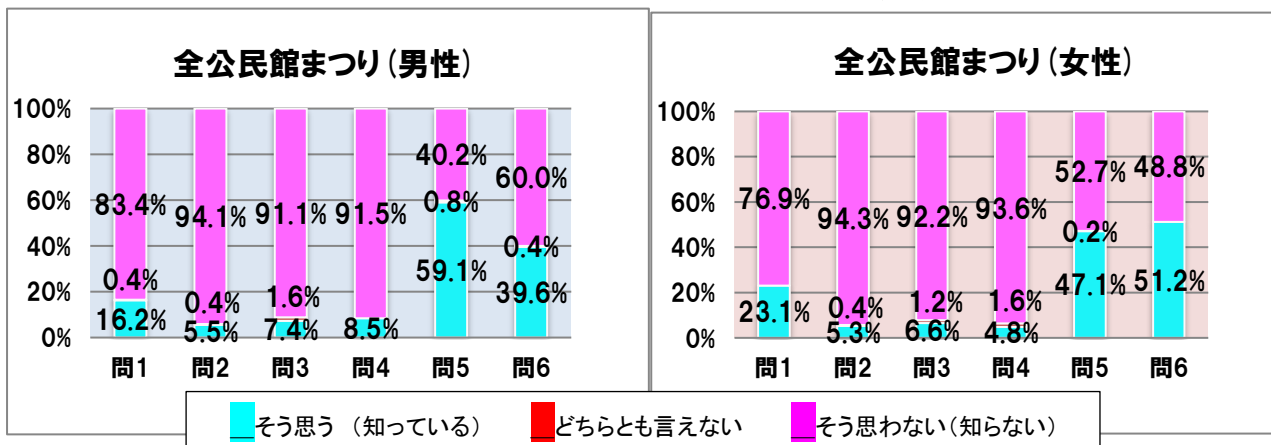
啓発部会の主な活動は、市のイベント会場などでピンクの法被を着て、男女共同参画についてアンケート調査を実施しています。そして男女共同参画とは何？と考えるキッカケになればとの思いを持って啓発しています。

「男女共同参画とは」を意識することで、身近にある偏見や差別を防ぐことが出来ると思います。男女が平等に意見を述べ、好きな事が出来る社会になることを目指して活動しています。



### 令和元年10月・令和2年2月公民館まつりでのアンケート結果

- 問1 自治会長やPTA会長は男性がやった方がいい？  
 問2 「女性だから料理ができる。」「ピンクが好きなんて男らしくない。」というのはあたりまえだ。  
 問3 看護師や保育士は女性の職業だと思う？  
 問4 男性が育児休暇をとるのはおかしい？  
 問5 仕事と生活の調和を取り、両方を充実させることを「ワーク・ライフ・バランス」と言います。この言葉をご存知ですか？  
 問6 「ハーモニーおやま」をご存知ですか？※年2回(10月と4月)発行、全戸配布



- ・新型コロナウイルス感染防止のため中止となった生井及び大谷公民館まつりは含まれていません。
- ・各質問で男女の差が20%以上になる項目はなかった。
- ・問5と問6の質問に関して、アンケートに参加した約半数が知らないという結果になった。

### 【地域交流部会】

2019年9月20日(金)穂積公民館で開催した「男女共同参画推進のための地域交流会」で、講師の工藤敬子さんのお話の後、紙芝居「うらたろう」を推進員で上演しました。性別を超えてお互いを認め合うことの大切さを学びました。人としてお互いを尊重しながら、楽しく自分らしく生きて行くこと。そのためにも心と体の健康はとても大切だと思っています。

趣味を楽しむこと、おいしいものが食べられることなど、普通のことのできる幸せをしみじみと感じています。





## 本会の8つの推進団体の活動紹介

### 【小山市更生保護女性会】

更生保護女性会は全国的組織で、小山市では平成13年に発足し、現在170名の会員がいます。活動内容は、犯罪や非行に陥った人たちの立ち直りを見守り、支えるボランティア団体です。そのための啓発や子育て支援などに取り組み、保護司会と連携をとりながら活動しています。

主な活動は、幼稚園等へ「球根」、小学1年生に「栞」、中学校3年生に「愛の鈴」などを贈ることで、「親以外にもあなたたちを近くで見守っている人たちが居るよ」ということを伝え、非行等への抑止の願いを込めています。また、更生保護施設や矯正施設への寄付・協力もしています。



### 【旧JAおやま女性会】

JA おやま女性会は、13支部で構成されていて、支部長を中心に役員・班長が事務局の方と一緒に行事を考えています。サマーフェスティバルには、よさこいクラブが参加し、秋のJA祭りにはお赤飯を800個作りますが、皆さまから大変好評をいただき完売しております。

なかでもJA桑女性会による寒仕込みの味噌造りは、大変ですが会員が力を合わせて造っております。楽しみもたくさんあり、研修旅行や様々な活動を通して、交流を深めながら、女性会を盛り立てております。



### 【おやま男女共同参画の会】

この会は、2017年4月に設立しました。会員は、栃木県女性の海外研修参加者、元つばさの会々員、他のメンバーです。会の目的は、全ての人の本質的平等の理念に立って、男女共同参画社会の実現を目指すことを目的としています。活動内容は、毎月1回定例会、小山市男女共同参画基本計画の学習、視察研修、新年会、会員の親睦交流をしています。

小山市男女共同参画課、小山市男女共同参画推進協議会と協働で、男女共同参画フェア、男女共同参画社会づくりに向けての全国会議、男女共同参画推進フォーラム、日本女性会議、地域交流会や啓発活動等を通して、よりよい社会づくりに向けて啓蒙活動をしています。



### 【新日本婦人の会小山支部】

新日本婦人の会（略称 新婦人）は、1962年平塚らいてう、いわさきちひろなど32人の呼びかけで創立しました。くらし、子育て、平和など女性の願いを実現するための活動をしています。

2003年春から国連NGOとして正式に認証され、世界の女性と連携し活動を広げています。小山支部は、4班で構成されています。ちぎり絵、絵手紙、ウォーキング、ストレッチ、俳句、健康吹き矢、ハンドメイドなどを楽しみながら活動しています。



### 【小山市食文化研究会】

健康で豊かな社会づくりを目指し、定期的な食育料理研修を通して、健全な食生活や男女共同参画の意識醸成に努めています。おやま地産地消・食育フェアでは、毎年かんぴょうむき体験や野菜スタンプ、マイ箸づくりなどの指導に関わり、食育の啓発に取り組んでいます。今年の小山市農業祭では、試作を重ねた「はとむぎラテ」を開発し、特産のはとむぎの普及に貢献しました。

健康都市おやまフェスティバル、小山市男女共同参画フェア、公民館まつりなど小山市の各種行事にも積極的に協力しています。これからも会員相互の交流、親睦に努め、社会に貢献できる会としての活動を続けてまいります。



### 【小山商工会議所女性経営者会】

小山商工会議所女性経営者会は、商工業の経営者、経営に携わる配偶者、従業員など約45名の女性会員で構成されています。和と輪を大切に、異業種の方々とも親交を深めながら女性団体として今年度25周年を迎え、活動もますます充実してきました。

活動内容は、会員相互の連携を密にし、情報を交換しながら中心市街地の活性化に協力し、研修会・講演会・地域の福祉への参加、また楽しい親睦旅行など、小山商工会議所のサポートのもと種々自発的に企画し活動しています。いつでも、どなたでも入会歓迎いたしますので、小山市在住の経営者の皆様、生涯学習の意味をも含めて、共に地域のリーダーとして同じ目的を共有し、素晴らしい時間を過ごしましょう！



### 【よつ葉生協】

よつ葉生協は「子どものいのちと健康を守りたい」と考えたお母さんたちが作った、小山市に本部を置く生活協同組合です。地産地消を大切に、生産者の方々との関係を築きながら、有機野菜や減農薬の農産物、安全な餌を食べて健康に育ったお肉、原材料にこだわり食品添加物を極力使用しない加工食品や調味料など、素材本来のおいしさが生きた食べ物を組合員さんにお届けしています。身体と地球と家計にも優しい暮らしへの近道です。ご一緒しませんか？



### 【とちぎつばさの会小山支部】

私たちは「とちぎつばさの会」という県の組織の小山支部です。この会は、1980年栃木県が「婦人の翼事業」として実施した海外研修の参加者が中心となって発足しました。本会は、「すべての人の本質的平等の理念に立って、男女共同参画社会の実現を目指す」ことを目的に活動しています。

小山支部はその目的に沿って、昨年度、「セクハラ裁判報告会」などを行いました。今後とも、理念を踏まえてグローバルな視点での学びも忘れずに小山市と連携し、みなさまと協働してつばさの会の底力を発揮できればと考えています。





毎年6月23日から6月29日までは  
国の男女共同参画週間です

令和2年度 男女共同参画週間キャッチフレーズ

そっか。いい人生はいい時間の使い方なんだ。

ワクワク・ライフ・バランス

～みなさんは、いいバランスで生活できていますか？



### 【トピックス】

#### オリンピック・パラリンピック東京 2020 大会

新型コロナウイルスの世界的流行を受けて延期となった夏季オリンピックが、来年7月23日（金）から8月8日（日）まで、パラリンピックが8月24日（火）から9月5日（日）まで行われる予定です。この大会の組織委員会が掲げる大会ビジョンの3つの基本コンセプトのひとつが「多様性と調和」です。その理念は、「人種・肌の色・性別・性的指向・言語・宗教・政治・障がいの有無など、あらゆる面での違いを肯定し、自然に受け入れ、認め合うことで社会は進歩する。この大会を世界中の人々が多様性と調和を改めて認識し、共生社会をはぐくむ契機となるような大会とする。」としています。この大会までには様々な問題を解決していかなければなりません。まず新型コロナウイルスに打ち勝って、世界中の国々からの選手や観客の方々と関わる機会に触れ、このコンセプト目線と“おもてなし”の心でオリンピックに臨みましょう。



### 〈編集後記〉

男女共同参画推進協議会が新たな協議会として再スタートしてから2年目の今年度は、啓発部会・地域交流部会においては、昨年度の経験を活かしてさらに充実した活動ができました。また、研修会や学習会においても男女共同参画社会のあり方を多くの方に理解していただくことができました。しかしながら、大きな期待を寄せていた「日本女性会議 2019 さの」が、台風19号の被害を受け中止になってしまい、本当に残念に思っております。被災された方々、また、佐野市の事務局の皆様にも心よりお見舞い申し上げます。さらに私たち協議会におきましても、新型コロナウイルスの影響で、十分な活動ができないまま令和元年度の活動を終えることが、とても残念に思います。今後は、次年度に向けさらに頑張っていきたいと思っております。



### 男女共同参画社会とは

性別にとらわれず、社会のあらゆる分野に女性も男性も等しく参画し、家庭・地域・職場において協力し、共に責任を担い、一人ひとりが個性と能力を発揮し、家庭とその他の生活活動が、両立できる社会です。

発行：小山市男女共同参画推進協議会  
編集：小山市男女共同参画推進協議会 広報部会  
〒323-0031 栃木県小山市八幡町1-4-5  
(事務局) 小山市役所 男女共同参画課  
電話：0285 (22) 8078  
FAX：0285 (22) 8079